

## 身体・精神症状に関する自記式評価尺度 Edmonton Symptom Assessment System

### revised 日本語版 (ESAS-r-J)を用いた症状モニタリングシステムの実施可能性の検討

#### 研究目的：

がん診療連携拠点病院では、全がん患者さんを対象とした苦痛のスクリーニングの実施体制を整備することが求められていますが、症状をモニタリングする患者・医療者の負担を減らす必要があり、効果的な手法は明らかになっていません。

Edmonton Symptom Assessment System (ESAS)は、1991年にカナダで開発された症状評価ツールです。ESASの特徴は、9つの身体・精神症状（疼痛、倦怠感、悪心、抑うつ、不安、眠気、食欲、健康状態、呼吸困難）に対し、患者さんの負担を軽減し簡便に評価できることから海外で使用されています。日本では2015年に日本語版（ESAS-r-J）が開発され、信頼性と妥当性が確認されています。

本研究では、がん患者さんの身体・精神症状を簡便で負担の少ないESAS-r-Jを用いて評価するシステムを作り、症状を経時的に評価できるかどうかを検証することを目的としています。

#### 研究対象：

2015年@月@日以降に、国立がん研究センター東病院の外来に通院中の患者さんを対象としています。2015年@月@日より1年間の調査を予定しています。なお、2015年@月@日から@月@日の期間、外来を受診された患者さん200名を対象に、ESAS-r-Jの内容で答えにくいところや分かりにくいところが無いかどうか聞き取り調査を予定しております。

#### 研究方法：

ESAS-r-Jを実施しました患者さんの診療録をもとに、患者さんの医学的社会的背景、身体・精神症状、治療歴などに関する情報を収集および解析をさせていただき、研究事務局で管理いたします。

調査期間内の最初の1週間では、ESAS-r-Jを実施した患者さん200名に調査員が聞き取り調査（10分程度）を行い、ESAS-r-Jに関する評価について情報を収集および解析をさせていただき、研究事務局で管理いたします。

#### 個人情報に対する配慮：

本研究の実施に際して得られる個人情報は、特定の個人を識別することができないよう連結番号による匿名化を行い管理し、個人情報が院外に出ることはありません。患者さん等からのご希望があれば、その方の診療録は研究に利用致しません。また、聞き取り調査を拒否しても不利益を被ることはありません。ご不明な点がございましたら、いつでも次の連絡先までお申し出ください。

#### 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先（研究事務局）：

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1

国立がん研究センター先端医療開発センター精神腫瘍学開発分野 小川 朝生

電話番号 04-7134-7013 FAX 04-7134-7026